

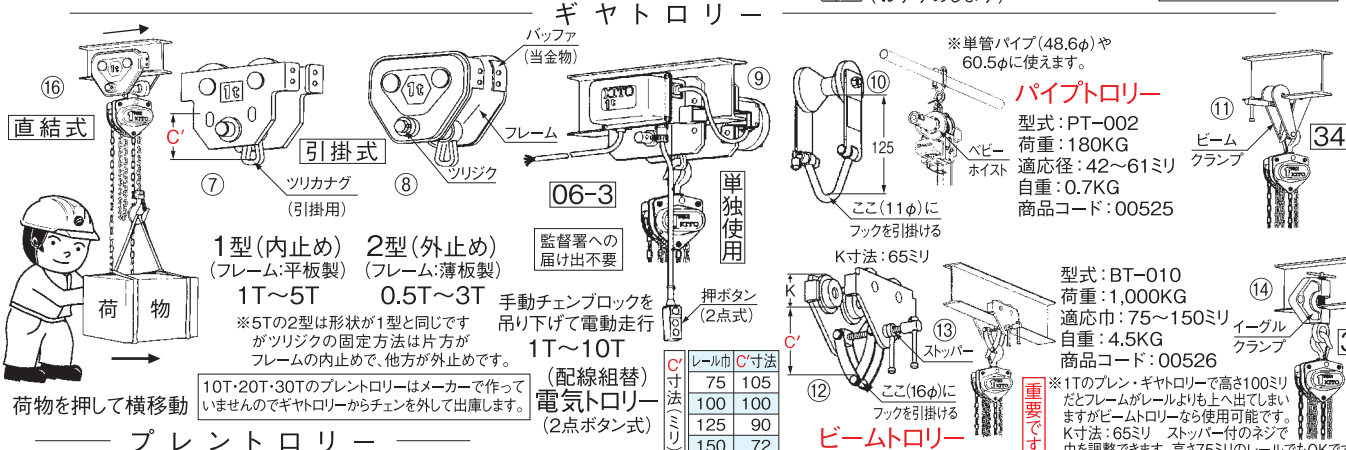
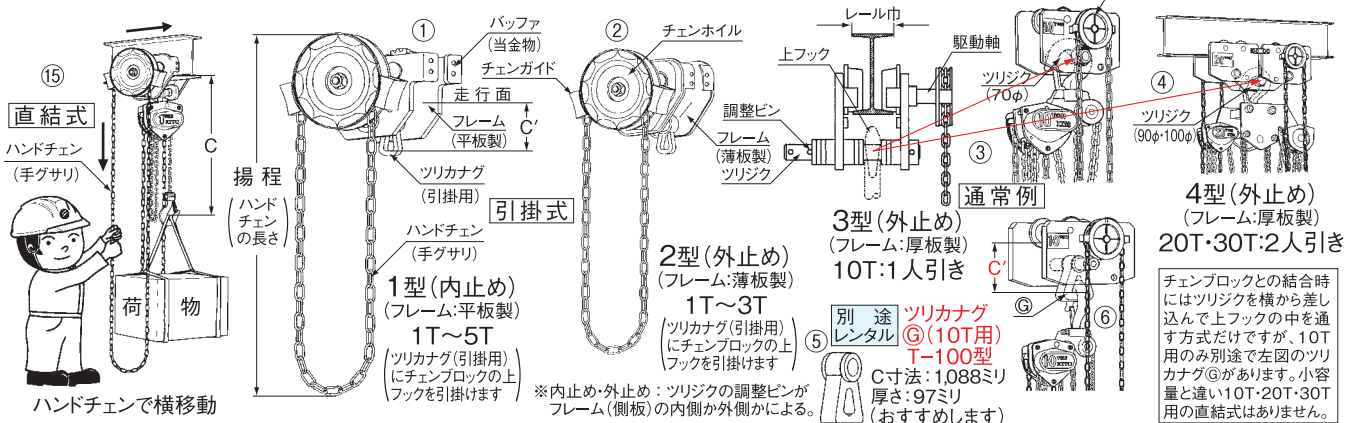
0.5Tから30Tまであり、ギヤトロリーは高揚程品(ハンドチェンの長い長尺物)も保有しています。

05-1 ギヤトロリー・プレントロリー・パイプトロリー ビームトロリー

(ハンドチェンで横移動する)

(荷物を押して横移動する)

- 注文時** ①吊荷重(T) ②レールまたはトロリー巾(ミリ) ③ギヤトロリーの場合は揚程(M) ※揚程とはハンドチェンの長さを言います。
- おすすめ** チェンブロックをレールに固定するのなら、この横移動用のトロリーよりビームクランプ→[34]やイーグルクランプ→[35]がおすすめです。
- お願い** ギヤトロリーの長尺ハンドチェン(高揚程品用)は必ず束ねてお返しください。からまったままの状態だと返されるとチェンを未処理として有料になる場合があります。
- 割増料金** 高揚程品(長尺物):ギヤトロリーのハンドチェン(手グサリ)を標準長さより延長(1M単位)
- 別途料金** 巾広仕様:トロリー巾を標準より広くなる 直結仕様:1T~5Tの手動チェンブロックとトロリーを直接結合させて出庫しますので、C寸法(レール走行面からチェンブロックの下フックまでの寸法)が引掛式より小さくなります。なお、電気チェンブロックとの結合も可能ですが、電気チェンブロック→[06]で取扱います。
- 別途レンタル** ツリカナグ®(T-100型):10T用で上フックを引っ掛けられます(特製品) ビームクランプ→[34] イーグルクランプ→[35] 電気トロリーのみ(1T~10T)→[06-3] ショートヘッドチェンブロック(1T~10T)→[03-2]



吊荷重(最大) (T)	適応荷重 (どれにも適応)	W:適応レール(トロリー)巾(ミリ)		ギヤトロリー				プレントロリー				形状		
		標準	巾広	型式	標準揚程(M)	自重(KG)	K寸法最高部	商品コード	型式	自重(KG)	K寸法最高部		商品コード	
0.5	-	50	75	P-005	0.5	6.0	76	00511	1.2	◎				
1.0	-	75	100	P-010	1.0	11.5	95	00512	1.2	◎				
2.0	-	100	125	P-020	2.0	19.0	112	00513	1.2	◎				
3.0	2.5	100	125	P-030	3.0	29.0	134	00514	1.2	◎				
5.0	-	125	150	P-050	5.0	50.0	144	00515	1.2	◎				
10.0	-	150	175	P-100	10.0	104.0	170	00516	3	◎				
20.0	-	150	175	P-200	20.0	212.0	170	00517	4	◎				
30.0	-	175	190	P-300	30.0	246.0	199	00518	4	◎				
パイプトロリー		適応	42~61	型式	PT-002	丸パイプ上をスライド	自重	0.77KG	荷重	180KG	商品	00525	5	◎
ビームトロリー		サイズ	75~150	型式	BT-010	レールのフランジ上をスライド	自重	4.5KG	荷重	1,000KG	商品	00526	6	◎

17 レール寸法
H:レール高さ
W:レール巾

18 各部寸法

19 ここに当たる

- レール巾(W):無指定なら()内の寸法で出庫
- レールの必要最低高(H):強度を考慮しなければ右表の()内のレール高さでも使用可能です。
- 自重:()内は2型の場合を示します。
- C寸法:トロリーに手動チェンブロックをセットした場合のレール走行面からチェンブロックの下フック内側までの最小寸法です。直結式の方が小さな寸法になります。なお10Tのギヤトロリーにツリカナグ®を取付けてチェンブロックを引っ掛けられれば取付けは楽ですが、C寸法は1,088ミリで、少し長くなります(ツリカナグ®は別途レンタル)
- 10T以上のプレントロリーはメーカーにも有りませんので、その場合は当社ではギヤトロリーからハンドチェンを外してプレントロリーとします。

吊荷重(最大) (T)	レールの必要最低高: 通常時	レールの必要最低高: ※ハリ内のみ	クマの厚さ:T	クマの外径:d	クマのツバ径:D	手動チェンブロックとセットした時のC寸法(ミリ)		トロリー のみの C寸法 (ミリ)	形状
						引掛式	直結式		
0.5	100(125)	100	24	60	82	373	295	88	1.2
1.0	125(150)	100	24	71	106	403	305	108	1.2
2.0	150(125)	100	29	85	127	500	380	125	1.2
3.0	150	125	31	100	148	682	535	172	1.2
5.0	175(150)	150	39	118	169	828	660	228	1.2
10.0	200	200	45	155	185	860(1,088)	-	328	3
20.0	200	200	45	155	185	1,300	-	-	4
30.0	250	250	51	175	218	1,450	-	-	4

※印のある必要最低高:ハリ内のみの場合に強度を考慮しなければ使用可能です。

ギヤトロリー・プレントロリー・パイプトロリー・ビームトロリー

まこれだけ

05-2 ギヤトロリー・プレントロリー

お知らせ

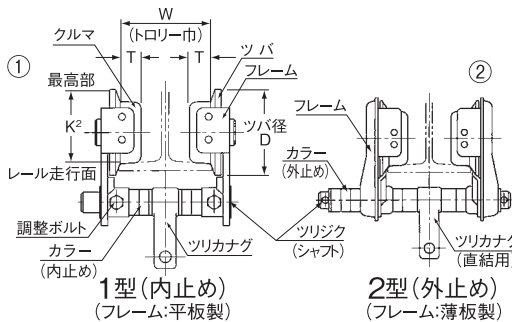
1. 指定レール(トロリー)巾に当方で合わせて(セットして)から出庫しますので、注文時には必ずレール巾をお知らせください。現場で合わせるのはカラーの移動や調整ボルト(ピン)のセット等の手間が掛かりますので大変です。
2. ギヤトロリーの揚程(ハンドチェンの長さ)は標準以外でも1M単位で増減できます(但し割増料金あり)
3. チェンブロックとトロリーの結合方式は一般的には手動チェンブロックは引掛式、電気チェンブロックは直結式ですが、0.5T~5Tではその逆も可能です。但し手動チェンブロックとの直結式には別途料金が掛かり、電気チェンブロックの引掛式は本体(フック式)と手動トロリーが別々のレンタル料金体系になります。
4. C寸法はレール走行面からトロリーに取付けた手動チェンブロックの下フック内側までの最小寸法です。
5. K1・K2寸法はレール走行面からトロリーの最高部までの寸法です(トロリーの最高部やクルマがレールの内側のプレートやジョイントボルト等の構造物に当たらない様に注意してください)前ページのK1・K2やTやH寸法を参照してください。
6. 前ページ表中のレール最低高:ハリ内のH寸法は強度を考慮しなければ使用可能な低めのレール高さです。
7. ギヤトロリーのハンドチェンは当方からは取外して別々に出庫していますので使用する現場でチェンホイールを一度外す等してからセットしてください(但し10T以上の機種はチェンホイールにある“切れ溝”から入れられます)
8. ギヤトロリーの自重は標準揚程から揚程が1M(実長2M)増す毎にハンドチェン分として1.0KGアップします。但し20T・30Tの場合は2人引きになりますので2.0KGアップになります。
9. 手動チェンブロックを引掛けて使用する電気トロリー(2点押ボタン式)だけのレンタル品もあります。→06-3
この方式だと機械はクレーンの扱いにはなりませんので監督署への届け出は要りません。

取付方法

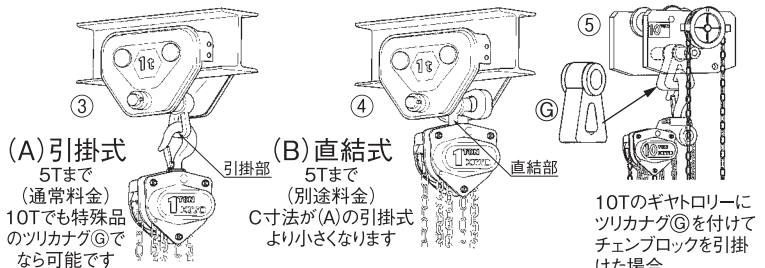
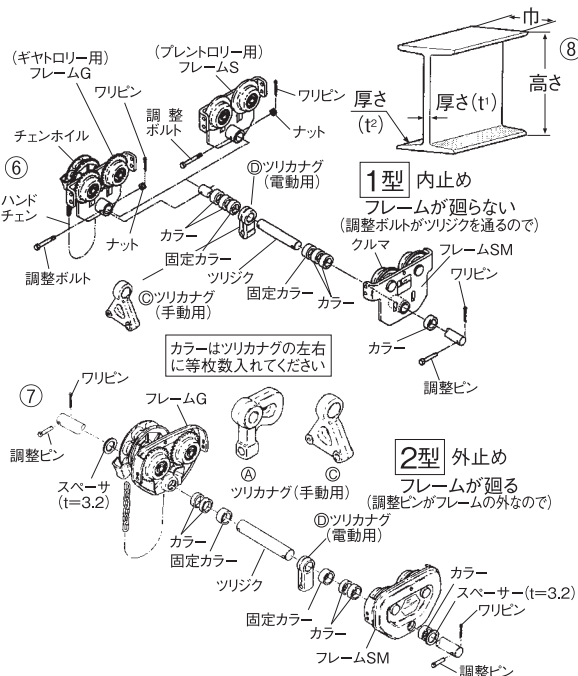
1. 走行レール巾(W)に合わせてカラー(座金)をフレーム(側板)の内外に移動してトロリー巾を調整する。
2. 結合状態のままレール端部からストッパーを外して入れるのが一般的ですが、もしレール端部に余裕(スペース)がない場合には、ツリジクの調整ボルト(ピン)の位置を一番外側の穴に移動し、フレームG(S)とSMの間隔を広げた状態で、レールの下側からトロリーを押し上げて片側のクルマをレールの走行面に乗せる。
3. 反対側のフレームを内側に寄せてフレームG(S)とSMの間隔を元に戻す。
4. 調整ボルト(ピン)を元の位置に戻してナットを締め、ワリピンを開けば終了です。
5. カラーの巾(厚さ):12.5ミリ/枚ですので両側(1枚、1枚)で合わせて25ミリになります。

走行レールサイズの選択

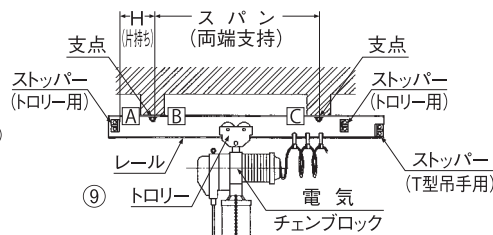
定格荷重(吊荷重)とスパン(吊り下げ支点間隔)を確認してから06-8のEの表で選定してください。



ツリジク(シャフト)の固定方法には内止め・外止めがあります。但し5Tの2型は形状が1型と同じですが固定方法は片方が内止めで、他方が外止めです。

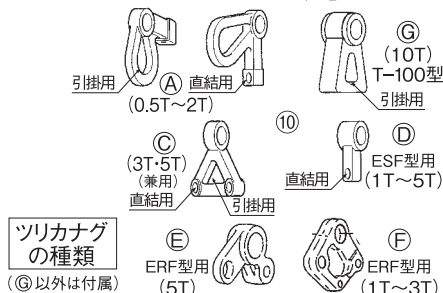


結合方式



H: 跳ね出し寸法(支点~ストッパー)

【B】~【C】の間を通るならフレームやツバはレールより出ても使用できますが【A】~【B】の間では上部がぶつかるとも知れないので注意



よくある質問①

Q.トロリーの頭がレールに当たるかも

A.左ページ表のH寸法参照

よくある質問②

Q.1Tの250ミリ巾は可能ですか

A.ツリジクが曲がってしまいます

よくある質問③

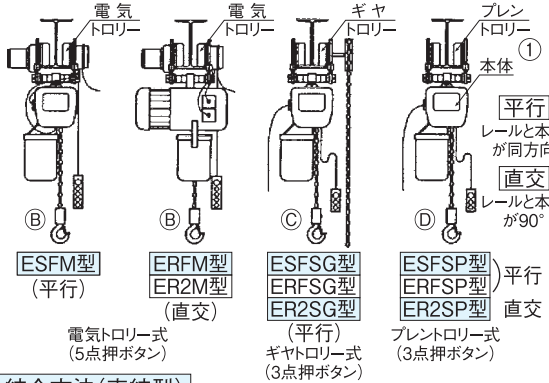
Q.走行用レールのレンタルはやってありますか

A.やっていません

06-3 電気チェンブロックのトロリーと安全装置

電気チェンブロック本体とトロリーの取付方向(直結時)

※0.5T~5.0Tの場合で、10T以上は問い合わせてください。



結合方法(直結型)

- トロリー巾の調整(カラーの厚さ:1枚が12.5ミリですので左右なら25ミリ)
 - ①トロリー巾を走行レール巾に合わせて調整します。(ツリカナグを中央にしてカラーの枚数を左右同数にしながらフレームの外内へ移動)
 - ②調整が終わったら、調整ピンにワリピンを入れて曲げる。
 - 電気チェンブロックとの結合(直結)
 - ①ツリジグに付いたツリカナグと電気チェンブロックをツナギジグで固定します。(図1の様に取付方向に注意)
 - ②ミゾナットをしめ、ワリピンを入れて曲げる。
 - 走行レールへの取付(結合状態のまま取付)
 - ①レールの端部から結合状態のまま入れる(この方法が最も望ましい)
 - ②レールの端部から入らない時
 - ③調整ピンをツリジグの穴の遠い方(一番外側)へ移動して、トロリー巾を広げ、走行レールの下方からトロリーを押上げて、片側のクルマをレールの走行面にのせる。
 - ④もう一方のフレームを巾寄せてクルマをレールの反対側の走行面にのせる。
 - ⑤調整ピンをツリジグの元の穴に戻し、ワリピンを入れて曲げる。
- (トロリーと電気チェンブロックを別々にして取付)
 ①トロリーを走行レールに取付ける(上記の①と③を参照)
 ②電気チェンブロックの方向に注意してトロリーと本体を結合する(図1参照)
 ③ツナギジグを入れてミゾナットをしめ、ワリピンを入れて曲げる。

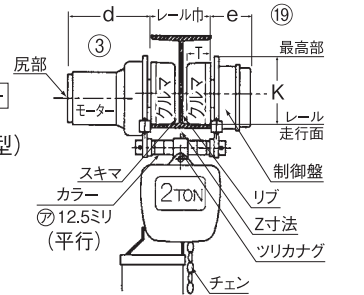
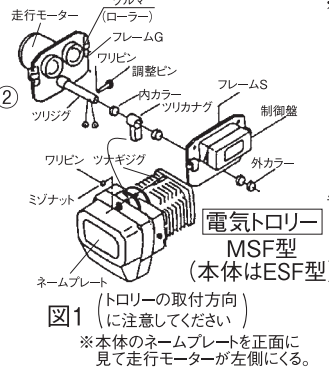
電気トロリー (200V×三相)

※100V用はありません。

トロリーの最大荷重(T)	1.0	2.0	2.8	5.0	10.0
適応する電気チェンブロック(T)	0.5・1.0	1.5・2.0	2.5・2.8	5.0	10.0
走行速度 (M/分)	20	20	20	20	10
標準品の適応するレール巾 (ミリ)	(75)・100・125	(100)・125・150	(100)・125・150	125・150・175	150・175・190
巾広仕様なら最大300(但し1.0Tは200・2.0Tは250)ミリまで変更可能					
電気トロリーの型式	ESFタイプ用:MSF	ERFタイプ用:MRF	ER2タイプ用:MR2		
各部寸法 (ミリ)	d: 254 (220) [220]	258 (225) [225]	260 (225) [226]	267 (281) [281]	270 (284) [284]
	e: 168 (179) [179]	171 (184) [184]	173 (184) [185]	180 (192) [192]	169 (219) [223]
	K: 125 (130) [130]	120 (125) [125]	132 (125) [131]	145 (145) [145]	175 (175) [175]
	T: 25 (24) [25]	28 (28) [28]	31 (28) [30]	39 (39) [34]	44 (45) [44]
レール必要最低高 (ミリ)	150	150	150	175	200
出力 (KW)	0.4 (0.4) [0.4]	0.4 (0.4) [0.4]	0.75 (0.4) [0.4]	0.75 (0.75) [0.75]	0.75 (0.75) [0.75]
電流値	3.3 (3.3) [3.3]	3.3 (3.3) [3.3]	5.4 (3.3) [3.3]	5.4 (5.4) [5.4]	5.4 (5.4) [5.4]
定格起動 (A)	10.5 (14.0) [14.0]	10.5 (14.0) [14.0]	18.5 (14.0) [14.0]	18.5 (22.8) [22.8]	18.5 (22.8) [22.8]
最小旋回半径 (M)	0.8 (0.8) [0.8]	0.8 (0.8) [0.8]	0.8 (1.0) [1.0]	2.0 (1.8) [1.8]	2.5 (2.5) [2.5]
自重 (KG)	43 (31) [32]	51 (39) [41]	61 (48) [51]	84 (69) [74]	92 (108) [106]
商品コード	00681	00682	00683	00684	00685

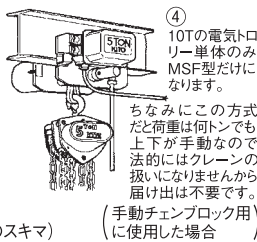
※2.8Tの100ミリのMRFとMR2タイプは不可です。
 ※K寸法: レール走行面からトロリーの最高部までの寸法(ぶつからない様に注意)
 ※T寸法: トロリーのクルマの厚さ(巾) ※1T吊の75巾・2T吊の100巾は不可
 ※0.5T吊の75巾・1.5T吊の100巾は可

巾広仕様 上表の標準レール巾より広くても最大300(別途料金) (1.0Tは200・2.0Tは250・2.8Tからは300)ミリまでなら変更可能です。



電気トロリーのみでもレンタルします(押ボタンコードは別途レンタル)が、手動チェンブロックの横移動(2点押ボタン)に使うのか、電気チェンブロックの横移動(5点押ボタン)に使うのかによりツリカナグと制御盤内部の配線を替えねばなりませんので必ず用途を知らせてください。なお手動チェンブロック用の場合は、盤の中にトランスを組込み、メタコンも5点用から2点用に取り替えます。押ボタンも2点式で、割増と別途の料金が掛かります。但しMSF型のみ。

タイプ	本体	トロリー
ESFM	ESF	MSF
ERFM	ERF	MRF
ER2M	ER2	MR2

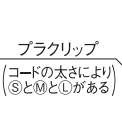


※Z寸法(レール下面とツリカナグとのスキマ)はその都度問い合わせてください。

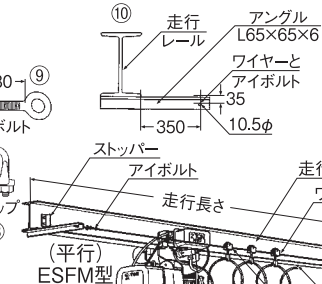
ケーブル吊手によるトロリーへの給電方法

① I型吊手式(ワイヤー走行式)
 低価格だが、直線レール用のみで、距離も20M位までしか使えません。

I型吊手
 (レンタルもあり)
 (中古販売もあり)



⑧ ローラー
 ⑨ アイボルト
 ⑩ 80
 ⑪ 35
 ⑫ 10.5φ
 ⑬ 350
 ⑭ 1.5M(コード長さだと1.8M)に1個必要です。



別売品

- (I型吊手のレンタルもいたします)
 I型吊手⑧: 2スケア×3.5スケア用
 I型吊手⑨: 5.5スケア×8スケア用
 I型吊手⑩: 5.5スケア×14スケア用
 ワイヤ-6ミリ: 走行長さ+1M
 アイボルト⑧: 2本 クリップ⑬: 6個
 キャブタイヤ→[54-2]で、レンタルだと加工品なので電源コードと呼びます。

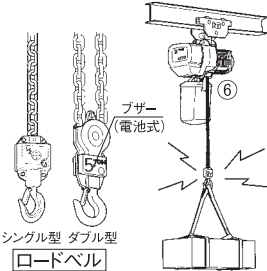
別途レンタル

電源コード: 必要長さ=走行長さ×1.2+分電盤までの距離→[54-1]
 I型吊手 分電盤・スタンド→[55]

① ロードベリ(警報ブザー内蔵)

割増料金 0.49T~5T(下フックを取替)

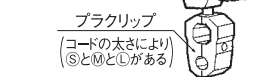
下フックにブザーが内蔵されていて、過荷重(オーバーロード)の場合には連続音(ブー)で、定格荷重付近では断続音(ブ・ブ)で鳴り分けます。ER2タイプ用はありません。



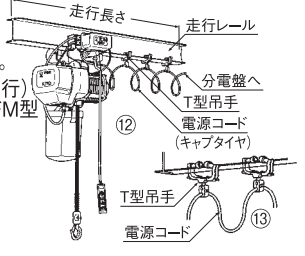
② T型吊手式(レール走行式)

長距離(35M位まで)向きで、カーブでも使用可能です。

T型吊手
 (レンタルもあり)
 (中古販売もあり)



⑪ 11
 ⑫ 1.5M(コード長さだと1.8M)に1個必要です。



型式	T-100S	T-100M	T-100L	T-150S	T-150M	T-150L	T-175S	T-175M	T-175L	T-200W
適応レール巾 (ミリ)	75	75	75	125	125	125	175	175	175	190
コードの太さ (スケア)	3.5	8.0	14.0	3.5	8.0	14.0	3.5	8.0	14.0	(割増)

※レール巾が175ミリより広い場合はT型吊手式より①のI型吊手式をおすすめします。
 ※14スケアより太いコードやレール巾が190ミリから200ミリの場合(T-200W型)は割増料金になります。

別売品

(T型吊手のレンタルもいたします)
 T型吊手: 数は走行長さ1.5M(コード長さだと1.8M)に1個
 キャブタイヤ→[54-1]レンタルだと加工品なので電源コードと呼びます。

別途レンタル

電源コード: 必要長さ=走行長さ×1.2+分電盤までの距離→[54-1]
 T型吊手 分電盤・スタンド→[55]

